

令和2年度桜木小の教育活動を止めないために

～保護者の皆様、地域の皆様にご理解いただきたいこと～

新型コロナウイルスの影響により、前例がないほどの長期間の臨時休業が終わり、6月1日から学校が再開されました。北海道や千歳市の感染状況は、落ち着きを見せているものの、まだ完全に終息したとは言えない状況です。

こうした中、感染のリスクはゼロにすることはできないという事実を前提として、子どもたちや保護者、職員の健康を守ることと、今年度予定されている教育活動をほぼ全て実施していくことの2者を両立していくことが求められています。

これらを両立させていくことは、とても簡単なことではありません。学校の力だけでは不十分であり、ご家庭や地域の皆様のご協力なしでは、両者を同時に進めていくことが困難です。

そこで、子どもたちや保護者、職員の健康を守りながら、これからの桜木小の教育活動を進めていくために、学校とご家庭、地域の皆様と共有しておきたいことをお伝えします。

全ての教育活動には目的があり、実施しなくてよいというものはありません

マスコミ等の報道で、よく「時数を確保するために、学校行事や〇〇の授業を行いません」という論調を見かけますが、正確には、この考え方は間違いです。

臨時休業によって授業時数が大幅に不足しているということは、前月の学校だよりでお伝えしました。もしかすると、「これだけ時数を確保することが難しければ、標準授業時数のみを確保し、行事などを実施しなくても仕方がないのでは」と思われた方がいらっしゃるかもしれません。

しかし、**行事や「〇〇教室」といった授業時数を用いて行う教育活動には全て目的があります。**それは、授業時数外で行う委員会やクラブ活動なども同様です。

学校は、次のような力などを子どもたちに身に付けさせるよう全ての教育活動を行っています。

- ① 知識・技能の習得（社会生活の中で必要な知識や技能を身に付けさせます）
- ② 思考力・判断力・表現力等の育成（理解していることと・できることをどのように自分の生活や学びに生かすかなどについて考える力や判断する力、実行する力などを育成します）
- ③ 学びに向かう力・人間性の涵養（どのように社会などに関わり、よりよい人生を送るか、学んだことなどをどのように自分の人生や社会に生かしていくかなどを考える態度などを涵養します）

これら3つの要素を合わせたものが「生きる力」と言われています。「生きる力」を育てるには、標準授業時数で定められた各教科等の学習だけを行っているのは、不十分であることがわかりいただけると思います。

したがって、文部科学省や北海道教育委員会、千歳市教育委員会は、「生きる力」を育てるために、予定されていた今年度中の教育活動を可能な限り全て実施するよう、学校に通知しています。

そのため、これまでに中止を決定した行事などは、その目的を達成するために、他の行事などを活用しなければならず、中止にしたままでよいということではありません。

なぜ、教育委員会は、夏休みを短縮してまで、また非常に暑い時期に登校日を設定するのか、運動会や学芸会は例年どおりの形で実施できなくても、違う形で工夫して実施するよう学校に求めているのか、こうした考え方を理解いただくと、なぜこのような動きになっているのかがわかりいただけるのではないかと思います。

今年度は、夏休みが短縮されること、運動会や学芸会が例年どおりの形で実施できないことなど、特に6年生にとって大変厳しい判断をしなければならない状況ですが、保護者や地域の皆様には、まず、学校として予定されていた全ての教育活動を可能な形で実施していかねばならないことについてご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。



運動会の実施形態や内容、未実施の行事など今後の教育活動の在り方などについては、7月の学校だよりで詳細をお伝えします。

学校の感染防止対策にご協力ください

新型コロナウイルス感染症は、未だ不明な点が多く、有効性が確認されたワクチンは存在しません。したがって、感染のリスクをゼロにすることができない中、教育活動を進めていかなければならず、感染予防とともに、感染した場合の対応についても、保護者の皆様と共有する必要があります。

一番気になる点は、児童に感染者が確認された場合、学校の一部または全体が臨時休業となりますが、これまでと同様に千歳市全体が一斉に長期間休業となることはありません。したがって、感染が確認された児童や濃厚接触者となった児童がいても、学校を再開するよう教育委員会から指示があり、登校できる児童とできない児童が生じる可能性があるのです。これは様々な憶測を呼び、差別や偏見、いじめにつながる恐れがあり、大変重要な問題だと考えています。

したがって、まずは**感染者を出さないように感染防止策をしっかりと行っていくことと、万が一感染者が発生した場合の行動について、あらかじめ考え方を共有しておくことが大切です。**

桜木小学校の感染症防止対策については、別紙で「**保存版 桜木小学校の新しい生活様式 ～感染のリスクをゼロに近づけ、子どもたちの学びを続けるために～**」にまとめていますので、そちらを必ずお読みください。



今後の教育活動の在り方

現在は、飛沫感染や接触感染の恐れがある教科については、年間の指導順序を入れ替えるなどしています。しかしながら、いつまでも実施が可能な時期を待つわけにも行きません。

中には、技能面の評価ができない教科が出てきたり、調理実習など、どうしても学校ではできない内容についてご家庭にご協力をお願いしたりすることがあるかもしれません。

まずは、全ての学習内容をしっかりと授業で行っていくことを優先しますが、状況によっては、相談させていただくことがあるかもしれませんので、その際はご理解とご協力をお願いします。

保護者の方に関わる教育活動の考え方

P T A活動などについては、すでに実施が困難となっているものが生じていますが、授業参観など、保護者の方に関わる教育活動については、可能な限り実施をしていきたいと考えています。しかし、感染のリスクを減らすには、密集や密接をさけるために、3学年以上集める活動については、今年度は実施を見送ることを原則として、全ての活動を見直していきたいと考えています。P T A活動については、

感染状況の見通しについては、まったく分かりません。このまま落ち着いた状況が続いたとしても、有効なワクチンが開発されるなどしないと、新しい生活様式に基づいた学校生活に変更が生じることはないと思います。

したがって、今後「意識の差」による感染防止策が不十分となってしまうことが一番心配な点と言えます。桜木小の子どもたちの学びを止めないために、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

7月中旬に改めて詳細をお伝えします。



【令和2年度教科書展示会に参加してみませんか】

7月1日（水）までの9時から18時（土日を除く）の間、千歳市役所第2庁舎2階で、小中学校と高等学校の教科書展示会が開催されています。

どのような教科書を使って子どもたちが学習しているのか、興味のある方は是非足をお運びください。